

1-2-4 両生類

現地調査計画

調査の目的

対象事業実施区域及びその周辺に生息する両生類の生息状況を把握するため調査を実施しました。

相調査は、対象事業実施区域及びその周辺における両生類相の把握を目的として行いました。また、過年度までに生息が確認されている重要な種エゾサンショウウオ（留意種：北海道レッドデータブック）について、春季の卵塊の分布状況の把握を目的として行いました。

ここでは、平成 16 年度に実施した調査のうち、6 月までの調査結果を報告します。

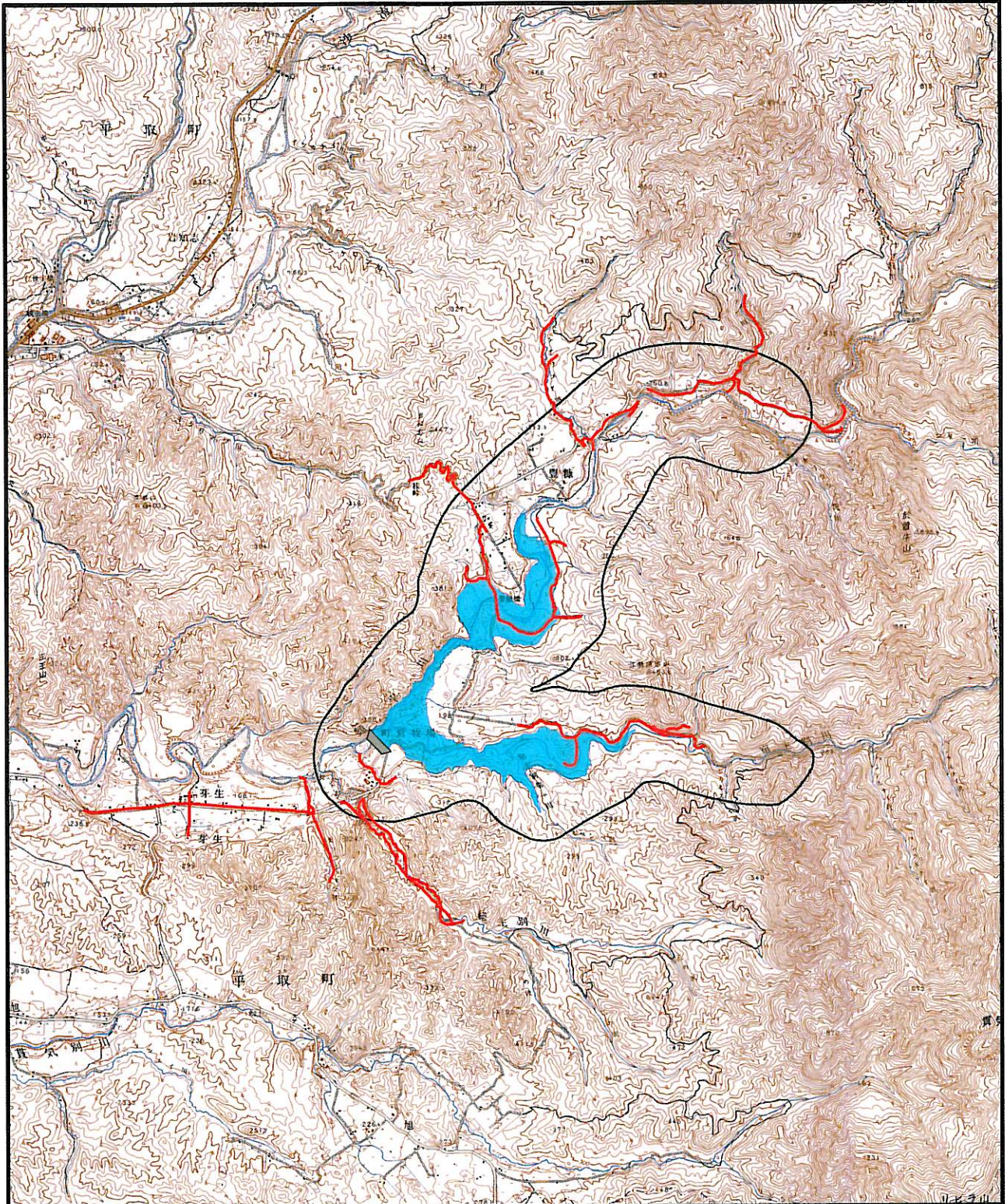
調査の方法

調査項目	調査方法	
両生類相	任意踏査	目視確認調査では、調査範囲内の池沼、湿地、水溜り、水路などを踏査し、両生類の成体、幼生、卵などが確認された場合、種名、個体数、確認地点などを記録した。
重要な種 (エゾサンショウウオ)	卵塊調査	踏査により、卵塊の分布状況の調査を行った。

調査日程

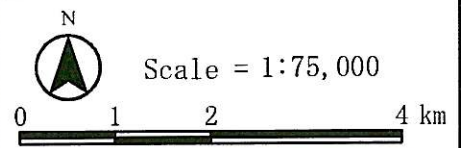
調査項目	調査時期
両生類相	平成 16 年 6 月 9 日～12 日
重要な種 (エゾサンショウウオ)	平成 16 年 4 月 21 日～24 日（卵塊調査） 平成 16 年 6 月 9 日～12 日

1. 平成16年度調査結果について



凡例

-  ダム堤体
-  貯水予定区域
-  調査地域
-  任意踏査 調査経路



両生類相及び重要な種
(エゾサンショウウオ) 調査地域・経路

平成 16 年度調査結果

両生類相調査

調査の結果、下表に示す 3 科 3 種の両生類が確認されました。

科名	種名
サンショウウオ	エゾサンショウウオ
アマガエル	アマガエル
アカガエル	エゾアカガエル
3 科	3 種

夏季調査では、エゾサンショウウオは 76 地点で確認されました。アマガエルは成体が 6 地点で確認されました。エゾアカガエルは 63 地点(卵塊のみ 1 地点、幼生のみ 44 地点、成体のみ 16 地点、幼生および成体 2 地点)で確認されました。

重要な種調査

重要な種として、エゾサンショウウオが確認されました。4 月の卵塊調査では、29 地点で卵塊が確認され、そのうち 8 地点で成体も確認されました。また、6 月の調査では、76 地点の確認地点のうち、7 地点で卵塊、75 地点で幼生が確認されました。確認地点の環境は、側溝、水溜まり、沢等でした。

科名	種名	文化財 保護法	種の 保存法	環境省 RDB	北海道 RDB	確認状況
サンショウウオ	エゾサンショウウオ				留意	春季に 29 地点、夏季に 76 地点で確認された。
1 科	1 種	-	-	-	1 種	1 種

表中の重要な種の略号

北海道 RDB

留意：留意種（保護に留意すべき種または亜種）